

2024年度 環境経営レポート



有限会社 山口土建

本格運用期間
2024年4月1日～2025年3月31日

発行日：2025年5月19日

組織の概要

事業所名 代表者名及び役職	有限会社 山口土建 代表取締役 山口智久
所在地	〒350-0827 埼玉県川越市寺山50-1
電話番号 mailアドレス	049-223-0117 info@yamaguchidoken.com
事業内容	土木・建築業
創業 設立	1963年4月 2004年10月
従業員数	9名
事業許可内容・種類	埼玉県知事許可(般-2)第65078号 土木工事業、大工工事業、左官工事業、 とび土工事業、石工事業、屋根工事業、 タイル・れんが・ブロック工事業、 鋼構造物工事業、舗装工事業、板金工事業 ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、 内装仕上工事業、熱絶縁工事業、 建具工事業、建具工事業、解体工事業
許可の有効期限	2021年11月12日から2025年11月11日
産業廃棄物収集運搬許可内容・種類	埼玉県(01100157716) 東京都(第13-00-157716号) 千葉県(01200157716) 汚泥(埼玉県のみ)、廃プラスチック、 紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、 ガラス・陶磁器くず、がれき類 コンクリートくず
許可の有効期限	埼玉県 2025年12月12日 東京都 2026年1月10日 千葉県 2027年3月8日 ※自社で請負う解体業に伴う産廃収集運搬のみを実施している。
エコアクション21 認証・登録範囲	全社・全活動を対象とする 本社及び資機材置場



環境省

エコアクション21
認証番号 0013665

環境経営方針

社是(基本理念):草取りから建築まで

顧客ニーズの多様化に応える技術力を高め、フットワークの軽さを活かし、
地域社会の利便性の高い生活環境を整えることに貢献します

行動指針:無理はやめよう、地球に悪い

行動指針をモットーとして、安全な作業や、作業の効率化を図るため、
ムリ、ムラ、ムダを減らし、次の項目に重点的に取り組みます

1. 限りある資源を有効に使用するために、3R活動に取り組みます
2. 地球温暖化対策のために、エネルギーの効率的使用に取り組みます
3. 環境関連法規を遵守します
4. 現状に満足することなく、環境経営の継続的改善に取り組みます
5. 持続可能な取り組みとして推進します



2021年12月24日 制定
2023年4月2日 改定
有限会社 山口土建
代表取締役 山口 智久

環境経営組織図・実施体制



役割	主な責任と権限
<u>総括責任者</u> (社長)	リーダーシップの発揮
	1 環境経営方針の制定 2 環境目標、環境活動計画書策定時の承認 3 EA21の構築と運用 4 EA21取組状況の評価と見直し 5 経営資源(人、設備、情報等)の用意 6 遵法性評価 7 月例ミーティング議長 8 総括責任者の指名(自己指名を含む) 9 対外部折衝 10 活動計画の討議、目標のフォロー 11 手順書の承認 12 緊急事態への対応 13 コミュニケーション記録、是正・予防記録の承認
<u>工事部長</u> (宮下)	1 社長にEA21の運用状況の報告 2 緊急事態の訓練責任者 3 教育・訓練の実施責任者 4 環境目標と環境活動計画の実施状況の検討 5 EA21の周知、徹底と教育の計画 6 現場に関する目標、活動計画の実施責任 7 是正・予防の対策立案と実施責任 8 コミュニケーション記録の確認
<u>事務局長</u> (小森谷)	1 コミュニケーション記録、是正・予防記録の作成 2 環境経営目標と環境経営計画の作成 3 文書管理
全従業員	1 EA21の自らの役割を理解し活動 2 教育・訓練及び環境に関する知識向上に取組

中期環境経営目標

方針	項目	単位	2021年度	2022年 4月～3月		2023年 4月～3月		2024年 4月～3月	
			基準値	目標値	基準年比 %	目標値	基準年比 %	目標値	基準年比 %
3R活動	分別廃棄物	t	240	240	100	238.8	99.5	237.6	99.0
	混合廃棄物	t	150	150	100	149.25	99.5	148.5	99.0
排出量 ²	軽油	L	12,053	12,053	100.0	11,993	99.5	11,932	99.0
	ガソリン	L	6,968	6,968	100.0	6,829	98.0	6,794	97.5
	電力	kWh	19,697	19,697	100.0	19,500	99.0	19,402	98.5
	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	56,166	56,166	100.0	55,598	99.0	55,317	98.5

分別廃棄物排出係数は、その他のがれき類「換算係数t/m³:1.48t」

混合廃棄物排出係数は、安定型混合廃棄物/管理型混合廃棄物「換算係数t/m³:0.26t」

* 電力排出係数は、TEPCO調整後排出係数:0.452kg-CO₂/kWh

* 電力会社より排出係数のお知らせがありました。2024年度は変更せず
来期(2025年度)より0.408kg-CO₂/kWh使用

注1) 化学物質の取扱はありません。

注2) 水使用量については、水道料金が家賃に含まれ請求されることから使用量の把握ができません。量の削減ではなく、節水の取組としています。

次年度の取組

次年度の環境経営目標値として、上表の2024年度の目標値を基準年度とし、
また実績については7Pの活動項目を取り組みます。



環境省

エコアクション21

認証番号 0013665

環境関連法規のとりまとめ

遵守状況確認日: 2025年3月28日

最新状況確認日: 2025年4月25日

法規等名称	遵守評価	最新確認	確認内容等
廃棄物処理法	○	済	許可証、契約書、マニフェスト、石綿廃棄物: レベルⅡ・Ⅲ等
資源有効利用促進法	○	済	買替無し
建設リサイクル法	○	済	対象工事届出
自動車リサイクル法	○	済	廃車あり
家電リサイクル法	○	済	廃棄家電なし
大気汚染防止法	○	済	該当工事あり
自動車NOx・PM法	○	済	車検証で確認
オフロード法	○	済	対象重機なし
騒音規則法	○	済	対象工事なし
振動規則法	○	済	対象工事届出
振動規制法	-	-	「規制対象工事ではありえない」ので対象外とする> 2023年度更新審査時
道路運送車両法	○	済	積込時、積載量チェック、日常点検実施
埼玉県生活環境保全条例(アイドリングストップ)	○	済	ヒアリング
フロン排出規制法	○	済	点検表で確認

※過去に違反・訴訟及び関係当局より違反等の指摘はありません。



環境省

エコアクション21

認証番号 0013665

6. 2024年度目標・計画取組実績

承認年月日:2024年5月16日

承認者:山口 智久

目標項目	目標値と実績値、評価			活動計画						
	前半		後半	活動内容		担当者	評価(結果と今後の取組)		評価	
分別廃棄物(t)	目標	118		120		①正確なマニフェスト処理 混合廃棄物以外 ②正確な廃棄物の分別 ③安全な廃棄物運搬作業	内勤	今年度導入のSV100-7(バックホー)により現場での分別精度が向上。分別意識も定着し、実績値は大きく目標を上回った。今後も機械を活用し、分別の徹底と混合廃棄物削減に努める。	○	
	実績	101.7		29.6			現場			
	評価	115.9 %	○	404.6 %	○		〃			
混合廃棄物(t)	目標	74		75		安全な廃棄物運搬作業 必要最小限の廃棄量	現場	混合廃棄物が出るような現場が少なかったこともあり、排出量は大幅減となった。今後も発生を抑える施工計画と、分別意識の維持に努める。	○	
	実績	2.1		0.0			〃			
	評価	3557.7 %	○	100.0 %	○		〃			
軽油使用量(L)	目標	5,962		5,970		①エコドライブの徹底 ②毎月の燃費管理	現場	PDCAにより現場での意識づけが進み効果が出ているが、稼働増に伴い使用量も増加傾向。今後も燃費管理とエコドライブを徹底し効率改善を図る。	○	
	実績	4,136		6,624			〃			
	評価	144.2 %	○	111.0 %	○					
ガソリン使用量(L)	目標	3,414		3,380		①エコドライブの徹底 ②毎月の燃費管理	現場	使用量が目標を大きく下回り、省燃費運転や効率的な車両使用の取組が成果を上げている。引き続き無駄な使用を抑え、車両管理と運転指導を継続して実施する。	○	
	実績	1,603		1,763			〃			
	評価	212.9 %	○	191.7 %	○		〃			
電力使用量(kWh)	目標	9,705		9,697		①毎月の使用量記録と見直し ②不要時スイッチoffの励行 ③冷暖房の適切使用	全従業員	冬場は太陽光発電の蓄電効率が低く、通常電力の使用が増加。LED照明の導入は済んでいるため、今後は待機電力の削減や充電管理、社員への省エネ運転・充電ルールの徹底により、使用量の抑制を図る。	△	
	実績	6,366		10,525			〃			
	評価	152.5 %	○	92.1 %	△		〃			
CO ₂ 総排出量(kg-CO ₂)	目標	27,689		27,627		軽油、ガソリン、電力の活動内容と同じ	全従業員	目標内に収まり、排出抑制が進んだ。PHEV車やLED照明、蓄電池の活用も効果を示している。今後もこれらの設備を活かし、運用面での最適化を図る。	○	
	実績	17,267		25,937			〃			
	評価	160.4 %	○	106.5 %	○		〃			
環境関連法規遵守・その他社内活動	①法規改正情報の入手		※HPや各会報誌等で改正情報を入手				社長	※事務所や資材置場、各現場でチェック		
	②遵法性チェック		※事務所や資材置場、各現場でチェック				社長	※事務所・資材置場・各現場での法令遵守点検が行われており、特に是正が必要な点は見られていない。現場単位での定期的な自己点検の仕組みを強化する。		
	③遵法性教育		※担当者のみではなく、全社員が法規遵守の意識をもつ				社長	※月例ミーティングでの教育実施に加え、社員全体への意識付けが継続しているので維持していく。		
	①教育・コミュニケーション		※月例ミーティング内でのEA21従業員教育 ※責任者だけでなく全社員が互いに指摘し合える関係性を構築 ※緊急事態訓練(9月)				社長	毎月月末ミーティングによる情報共有、緊急時訓練など、職場全体での良好なコミュニケーションが取れているので継続していく。 緊急事態訓練(9月/3月)▶実施済み 周辺道路清掃(ロードサポート活動)8月/3月▶報告済み アルコール検査チェック導入▶12月より		
	②EA21関係		※年度締め時期に評価・見直しならびに新年度計画作成				社長	EA21ミーティング:6・9・12・3月実施済み 来年度の目標も早期に策定し、改善点を反映していく。		
	③有資格者の拡大		※4月～7月国家試験:受験				社長	国家資格取得の受験を支援し、社員のスキル向上に努めた。今後も計画的な人材育成スケジュールを作成し、継続的に実施する。		
全体コメント 環境責任が年度終了後に記載する	本年度は、混合廃棄物の発生がほとんどない現場が多く、分別廃棄物の取組が中心となった。また、軽油使用ではPDCAによる管理と現場の意識づけが進み、一定の効果が見られた。一方で、現場稼働の増加や冬季の太陽光発電効率低下により、軽油・電力使用量がやや増加したが、PHEV車・LED照明・蓄電池といった設備の導入はCO ₂ 排出抑制に貢献している。今後は、既存設備を有効活用しながら、待機電力の削減や充電管理の徹底、省エネ運用によるさらなる環境負荷の低減を図る。									

目標値の評価方法:数値が減ると良い方向になる目標(例えば、燃料、廃棄物)は目標÷実績で評価値を表す。

数値が減ると悪い方向になる目標(産業:混合廃棄物排出量)は実績÷目標で評価値を表す。

評価値100%以上:○、90%～100%未満:△、90%未満:×

活動計画の評価方法:活動内容を実行した:○、実行したが不十分:△、活動をしなかった:×

代表者による全体への評価と見直し・指示事項

事項	確認文書	代表者の評価
環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況、及びその効果	目標・活動計画フォロー表	廃棄物分別や燃料管理など目標は概ね達成。PHEV車・LED照明・蓄電池の導入によりCO ₂ 排出量も目標内。一方で電力使用は一部で増加傾向があり、充電設備や季節要因への対策が今後の課題。今後もデータ管理とPDCA運用を継続する。
法規の遵守状況	遵法性チェック 結果記録	法令チェックを定期的実施し、違反はなし。 廃車も適切に処理済 ※廃車あり➤廃車業者にて手続き通りに対応済み 1台➤「報告資料」あり 今後も改正情報を把握し、法令遵守の意識を維持していく。
外部からの苦情・要望、システム全体	環境コミュニケーション記録	2024年度も外部からのクレームや苦情の発生はなく、適切な対応と日常的なマナー意識の浸透が継続されている結果といえる。 環境コミュニケーション活動として、地域清掃やミーティング等も継続的に行われており、社外との関係性も良好に保たれている。

代表者による環境方針等の変更の必要性ならびに指示事項

事項	変更の要否	指示事項等
環境経営方針	不要	継続実施
環境経営目標	不要	継続実施
環境経営計画	不要	継続実施
実施体制 システム全般	要	一部業務が特定の担当者に偏る傾向が見られたため、月次ミーティングを活用し、情報共有と役割分担を見直すことでPDCAの円滑な運用を図る。システム全般については大きな問題はなく、現行の運用を基本としつつ、必要に応じて柔軟な見直しを行っていく。

実施日: 2025年5月16日

実施者: 代表取締役

※年1回実施すること